

令和元年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

三重県

行事名称	宇流富志禰神社消防訓練
実施期間・日時	令和2年1月26日（日）10:00～11:30
実施場所	宇流富志禰神社（名張市平尾3322）
主催者	宇流富志禰神社 名張地区まちづくり協議会 名張市消防本部 名張市消防団 名張市教育委員会

■実施内容

訓練の想定

令和2年1月26日（日）午前10時頃、境内「直会殿（なおりいでん）」に奉斉会役員が集まり会合中、同建屋のコンロ付近からの出火を想定。

訓練の内容

宮司による火災発見、通報、近隣住民への呼びかけ、初期消火（バケツリレー・消火器）、文化財（模擬）の搬出、負傷者の救護訓練、消防署救急隊による救急活動を実施。消防署、消防団による放水訓練を実施。

参加者及び役割分担

宇流富志禰神社宮司	: 119番通報
宇流富志禰神社奉斉会	: 初期消火、文化財の搬出
名張地区まちづくり協議会役員	: 初期消火、文化財の搬出
名張市市消防団	: 放水訓練
名張市消防本部	: 全体統括、放水訓練、講評
名張市教育委員会	: 現場立会い、文化財確認

参加者合計人数約70名

特に工夫した点

名張市消防本部の訓練進行アナウンスにより、訓練内容は同時進行することなく、住民が主体となって、1項目ずつ参加者全員で、分かりやすく共有する。

問題点・課題

今回は、神社関係者の参加人数が多く、比較的多くの人数での訓練が行えたが、今後も引き続いて参加人数を確保していくことが課題。住民の協力があつての訓練であるため、情報発信、情報共有が重要。

その他

毎年文化財防火デーに合わせて消防訓練を行うことで、文化財所有者や地元住民の文化財愛護意識の高揚を図り、防災の必要性を確認する機会となっており、今後も継続して実施することが重要。

訓練風景



放水訓練



バケツリレー訓練